

## <2017年7月今月の注目企業>

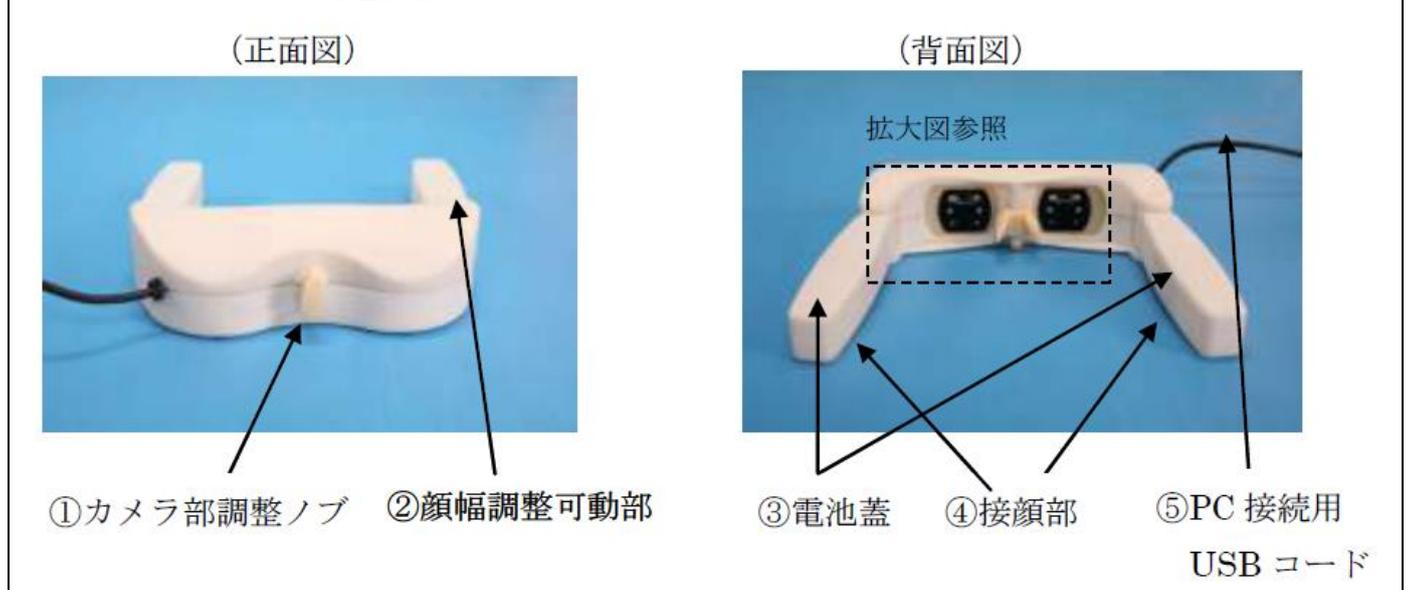
### ○ 株式会社ウラタニ・ラボ

- ・設立：平成9年2月
- ・資本金：2,000万円
- ・代表：代表取締役 浦谷 英樹
- ・特筆事項：東京大学医学部 中尾博之准教授の研究成果を事業化
- ・事業内容：医療機器製造業許可区分：医療機器 一般、医療機器製造販売業区分：第3種

#### <紹介製品>

可視光に対する瞳孔の反応を記録し、瞳孔径を測定する装置。その動作原理は、瞳孔反応に影響しない近赤外線を照射し、正常状態(散瞳状態)の映像をカメラで読み取る。さらに可視光を左右の目に時間差を作って発光し、両眼の瞳孔反応及び対光反射をカメラで読み取る。読み取られた映像は、接続するPCに送られ、専用ソフトにより瞳孔径を測定し、画像とともに記録・表示される。

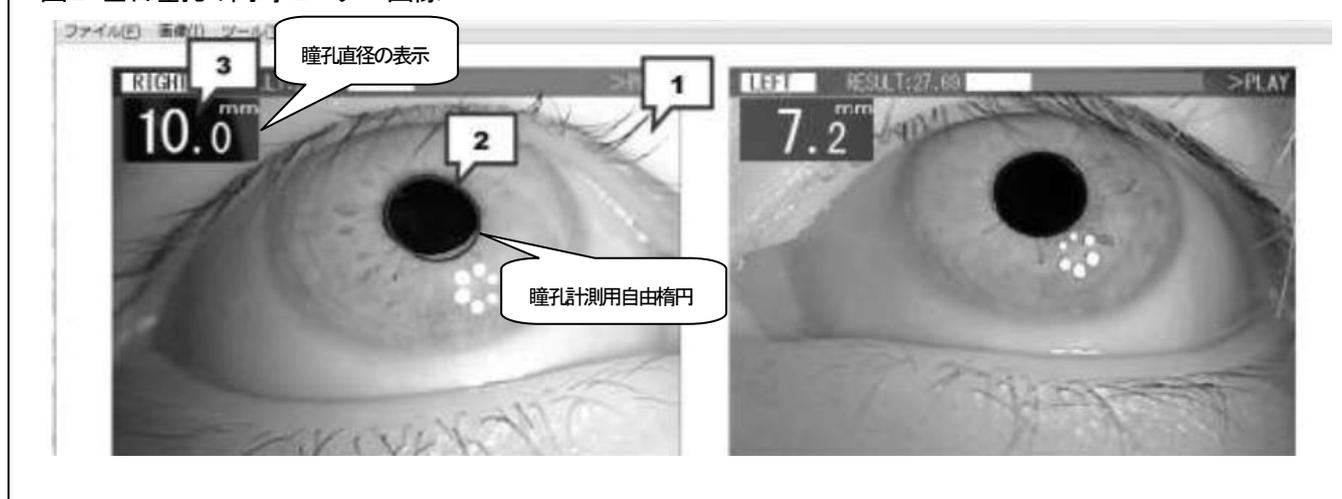
図1 救急医療等で求められる瞳孔径の計測技術



#### <注目点>

東大病院・中尾先生の技術をヒトミル(株)にライセンス提供し、ヒトミル(株)における研究開発の成果も加えてウラタニ・ラボで事業化した。意識障害脳機能を簡易的に判定する方法として、従来瞳孔径の測定と対光反射についての評価を行ってきた。しかし、瞳孔径は専用のメジャーを用いたおおよその目算であり、対光反射は光度が一定でなく、その有無判定も曖昧であるばかりでなく、画像記録ができないために客観性が得られなかった。同製品は、ゴーグル部とモニターリング用のディスプレイ(タブレット)から構成され、瞳孔を近赤外光で認識し、眼球の動きを自動追尾して認識でき、自動画像記録を可能とした。

図2 左右瞳孔の同時モニター画像



<連絡先> ウラタニ・ラボ 医療機器担当：太田育宏、浦谷直斗

本社 大阪府大阪市西淀川区姫里3-10-22 TEL:06-6478-5551 FAX:06-6478-5522

Web: <https://www.uratani.co.jp>